

市議会会派 自由民主党 仙台市議会議員(宮城野区)

# 赤間 次彦 市議会通信

令和2年第2回定例会報告 令和2年 **夏** 号発行/赤間次彦 〒983-0821 仙台市宮城野区岩切字今市東18-1  
TEL・FAX: 022-255-0095  
http://www.sendai-akama.jp mail@sendai-akama.jp

仙台市議会は、地域経済の早期回復や医療体制の充実等、感染症対策に充てる財源に協力すべく、議員報酬の一部や、政務活動費、議会費について1億円余を減額することといたしました。

## 令和2年第2回定例会報告

日頃よりの仙台市政へのご協力に感謝申し上げます。

今回の仙台市議会報告は、令和2年第2回定例会(6月9日～25日)の報告をさせていただきます。

第2回定例会では、新型コロナウイルスの緊急経済対策費、34億706万円を計上した補正予算案や、議員報酬と市長給与を減額する条例改正案など20議案を可決いたしました。主な補正は緊急経済対策費に13億9千万円、認可外保育施設への助成費1,717万円、ひとり親世帯への臨時特別給付金11億2,841万円などとなっております。

今回のレポートは、自由民主党代表質疑の主な質問と答弁の要点を記載させていただきました。是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

### 情勢認識と市政運営について

**質問** わが国初の新型コロナウイルス感染症の患者は1月16日に発表され、本市においても2月29日に初の感染者が確認されたものの、4月29日以降感染者の発生はなく、退院された65人全員の命が守られた事は幸いである。

この間そして現在の対策に当たっている医療従事者をはじめ、市民生活を維持するため尽力している各分野の関係者の皆様に改めて敬意を表する。同じく事態沈静化の為、日々ご協力くださる市民の皆様への感謝と、コロナ禍によって様々な制約と困難に耐えている方々のご心痛を察するものである。

国外ではコロナ禍が未だ猛威をふるい、国内でも少なからず感染者が発生している。油断すれば第2波につながる可能性が高いといわれているが、市長の情勢認識とわが国の対策等に関する所感を伺う。

また、感染症との戦いにおいて、現在をどのような時期と捉え、今後どのように対策と市政運営を進めていくのか。

時勢の変化を踏まえ、今年3月に示した令和2年度市政方針の見直し等をしているのか伺う。

**答弁** 本市では、4月29日以来、新たな感染者は発生しておらず、感染状況は落ち着いているところだ。しかし、昨日海外か

ら帰国された方々から感染が確認されたことなどを踏まえ、予断を許さない状況であると認識している。

私は、市民の皆様方との連携はもとより、国・県等関係機関との連携を密にしつつ、第2波への備えを本市として進めていきたいと思っている。対策に全力を期すとともに、今般の感染拡大により深刻な影響を受けた地域経済、また学校教育等の早期回復等、これらに力を注いでいくことが、基礎自治体の責務であると考えている。

市民の皆様方の命や健康、そして安全安心な生活の確保を第一に、市政運営に全力で取り組んでいく所存である。

### 新型コロナウイルス 感染拡大

あの企業の対策・対応は？  
大手から学ぶ危機管理体制



### 新型コロナウイルス感染症緊急対策プランについて

**質問** 「仙台市新型コロナウイルス感染症緊急対策プラン」が提示された。リーダーシップを取る市長のもとで、しっかりと内部の検証を進め今後の対策の進化と共有を図ることを願う。感染者数も多く軽症者療養施設を域内に開設した青葉区、および感染者の医療に携わった市立病院に

ついて現時点での所見と今後の考え方について示していただきたい。

**答弁** 相談センターでの対応はもとより帰国者・接触者外来等が採取した検体の運搬等に職員が忙殺され、感染者のフォローアップや疫学調査が迅速に進まなかった時期もあった。

市立病院では、感染者発生初期やクラスター発生時期などに合わせ、感染症内科を中心とした医療スタッフ全員で対応するとともに、感染症病棟以外の個室等も活用し可能な限り多くの患者を受け入れた。

今後、第2波の到来に備え、これまでに得た知見を生かし、診療に欠かせない防護具等の調整や、感染への不安を抱える当院の医療スタッフの心のケアなども図りながら、感染症指定医療機関として期待される役割を果たしていく。

**質問** プランで示された課題を踏まえての、市長の所見と今後の考え方について伺う。

**答弁** 保健所の業務量の増加やPCR検査等の医療提供体制に加え、学校再開の判断や市有施設の取り扱い、マスクや消毒液の備蓄など様々な課題も浮き彫りになった。今後、この検証から得られた知見や教訓を十分に踏まえ、第2波への備えに万全を期すとともに、中長期的な視点から総合計画への反映等についても検討し、感染症に強いまちづくりにつなげていきたい。

### 一般会計補正予算について

**質問** 今回の補正予算は、約46円億円規模となり、国の補正予算に紐付いた項目が多くを占める。これまでのコロナ対策費の総額はいくらか。そのうち市の独自施策への拠出割合はいかほどか。

**答弁** 今回の追加提案に関わる補正予算までの感染症対策費は、特別定額給付金事業費のおよそ1,076億円などを含め、総額でおよそ1,437億円である。そのうち本市の一般財源はおよそ52億円で、割合は3.6%となっており、このほかに中小企業活性化基金をほぼ全額活用して地元企業の資金繰り支援を行うなど、独自の取り組みも盛り込んでいる。

### 減額・財源補正等について

**質問** 今回の当初予算の減額及び財源構成における事業見直し額は、一般会計ベースで15億1,200万円で、6分の1程度となっている。見直しにあたっては地元経済の維持・振興のため計画的な公共事業発

注への十分な留意が必要ではあるが、合わせて見解を伺う。

**答弁** 中止が決定している、仙台七夕花火祭りなどのイベントに関わる経費や、敬老乗車証等執行額の減少が見込まれる事業等について減額することとし、市民生活や地域経済への影響も見極めながら、組み換え等を進め、可能な限り多くの財源を確保できるよう取り組んでいきたい。

**質問** 関心の高い仙台市役所庁舎の建て替えと、音楽ホールの建設はこのまま進めるのか、それとも延期、または思い切って中止するのか。

**答弁** 厳しさを増す財政状況の中ではあるが、来庁された方々の安全性を確保することもしながら、本市が将来にわたって行政機能を果たしていくためにも、事業費のさらなる精査を行いつつ、今の時期から着実に進めていくことが必要であると考えている。今後、感染症の動向については未だ予断を許さない状況であるので、慎重にその影響を見極めつつ、今後の進め方について検討していきたい。

### 健康福祉・消防関連について

**質問** 感染症の拡大防止策は、当初に比べだいぶ取り組みが進んでいるが、答弁では、さらに充実・拡大を図るとあった。それぞれの進捗状況と今後の見通しについて伺う。

**答弁** PCR検査の体制は、現在1日80件だ。今回PCR検査機器2台等を補正予算としてお諮りしており、導入後は衛生研究所において1日240件の検査が可能となる。

**質問** 泉消防署による災害対応訓練がSNSに公開された。これまで新型コロナウイルス感染者等の対応にも当たっているが、対応状況(実績)と課題、及び今後の取り組みについて伺う。

**答弁** これまで感染症が疑われる傷病者63名を救急搬送し、うち2名が後の検査で陽性と判明した。円滑な救急搬送が実施できるよう、新たに病院収容に関する共通の手順書を作成し、引き続き関係部局と緊密な連携を図りながら迅速確実な救急搬送に努めていく。



**質問** 感染症の拡大の影響による休業等に伴う収入減により住居を失う恐れのある方に対する住居確保給付金を支給する「生活困窮者自立支援事業費」の追加が予定されている。この事業の追加にあたっての理由と対象数について伺う。

**答弁** 離職や、やむを得ない休業等による経済的な困窮のため、住居を喪失した世帯を対象に家賃の全部、または一部を原則3カ月、最大9カ月間支給するものだ。本市においても既に想定を大きく上回る申請数となっており、支給する述べ世帯数は約1万件を見込んでいる。

### サーマルカメラと特別定額給付金について

**質問** エルパークや市民会館等にサーマルカメラを導入するとあるが、管理運営は誰が行うのか。また今後市民センター等に配置する予定はあるのか。

**答弁** サーマルカメラは市から指定管理者に貸与し、管理・運用を行っている。イベント開催時に主催者側へ無償で貸し出し、来場者の体温チェックに活用していただくほか、自主事業等で指定管理者自らが使用することも想定している。

また、市民センターについては利用者の感染予防対策に活用するため現在、非接触型体温計の配備を順次進めている。



**質問** 10万円の特別定額給付金の発送が進められている。発送作業が遅いとの批判もあるが、その原因は如何か。現時点での発送状況と課題、今後の振り込み等に対する見込みについても伺う。

**答弁** 給付金の支払いはこれまで12万件の審査を終了し約7万世帯への振り込みを完了している。現在受付から振り込みまで3、4週間お待ちいただく状況となっている。

現在1日あたり約10,000件の処理能力を約16,000件まで増強し、休日も含めた作業を継続するなど、早期給付に向け引き続き全力を挙げて取り組んでいく。

### 子ども未来局関連について

**質問** 今回認可外保育施設支援事業費が計上された。認可外保育所への手当の必要性に仙台市が独自支援で対応したことを

評価する。これによって子ども子育て世代への応援が等しく行われることになるが、改めて本事業の概要と狙い、対象者数について伺う。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、認可外保育施設が登園を自粛した際の利用料の減免等を行った場合に、その相当額を施設に助成するものだ。保護者支援の観点から、助成が必要と判断した。対象となるのは課税世帯の0歳児から2歳児までの約400名を見込んでおり、この助成が活用され、登園を自粛した保護者への利用料の返還等が促進されるよう努めていきたい。

### 緊急経済対策について

**質問** 東北の4月から6月期の法人企業の景況感が過去最悪であると公表された。本市の経済の状況認識は如何か。

**答弁** 「地域経済動向調査」でも今後さらに悪化すると考えている事業者は多く、経済活動は徐々に動き出しているが、まだまだ厳しい状況にあるものと考えている。緊急経済対策における重点事項として「相談体制の拡充」に取り組んでおり、改善を図っている。

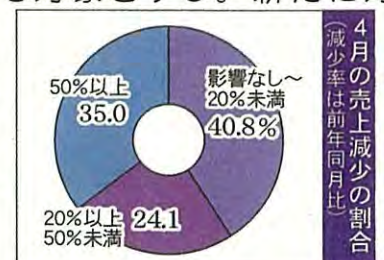
**質問** 本市の経済刺激対策への取り組みは評価する。地域産業協力金の成果と現時点における、地域産業支援金の成果は如何か。

**答弁** 昨日までに、地域産業協力金が7,057件、地域産業支援金が10,106件、合計17,163件の申請があり、5,905件を支給したところだ。

本市の地域経済を担う中小事業の継続を引き続き支援するとともに、経済の回復期を見据え、今後は地域経済の循環の拡大に向けた取り組みを加速させていく。

**質問** 今回第3弾として展開する地域産業支援金の対象拡大の概要について伺う。

**答弁** 「事業所得」により確定申告を行う中小事業者に加えて、「雑所得」「給与所得」によって申告を行うフリーランスを含めた個人事業主の方を対象とする。新たに対象となる方々の申請期間を7月末までとし、申請書作成の支援窓口も延長することとした。



**質問** 地域消費を喚起する割増商品券発行事業の狙いと想定する商店街の対象数について伺う。

**答弁** 市内には約60の商店街が組織されており、時間を短縮し発行時期や場所を分散させることが可能となるため、事業者単位ではなく商店街単位で取り組んでいただくこととした。地元商店で使っていただくことで経済の域内循環が図られ、商店街ごとの個性や店の魅力を知っていただく良い機会になると考えている。

### 今後の教育施策について

**質問** 6月1日から学校が再開された。3ヶ月にわたる休業と生活様式の変革に伴い子供たちの学習の遅れや様々な問題が指摘されている。これらに関する現状認識とこの間進めてきた支援策の評価を伺う。

**答弁** 学校行事の精選や、夏季休業期間における授業数の確保など、学習内容の定着に向けた種々の教育活動を行っていく必要がある。きめ細かな学習支援や心身ケアにいっそう注意を払い児童生徒の学校生活を支援していきたい。

**質問** 小学校へのエアコン整備が遅れ、夏休みに間に合わない学校が多数ある。いったいなぜ遅れたのか?その原因を伺う。

**答弁** 総数190校、約4,000室へ設置する大きな事業規模となり、工夫して取り組んできたが、入札不調も発生し有資格者の確保が難しい状況が判明したことから、資格者を確保できる期日以降に工事着手をすることとした結果、当初予定より工事完了が遅れが生じた。一日も早く設置完了できるよう最大限努力していきたい。

**質問** 整備の遅れを補完するため、ルームエアコンの導入計画が示されたが、業務用エアコンに比べて十分な学習環境が保たれないのではないかと懸念も聞かすが如何か。

**答弁** エアコン工事が完了しない小学校について、学習環境を少しでも改善するため、仮設のエアコンを設置する。複数の扇風機により教室内の冷気を循環させることや

始業前から稼働させること、カーテンにより直射日光を



遮ることなどにより状況に応じ対応しながら熱中症予防対策を講じていきたい。

**質問** 学習進捗の回復と教員現場の負担軽減、リスク分散の観点から土曜日授業を定着化すべきと考える。

また、学校では消毒作業が大きな負担となっている。消毒作業を行う場所、頻度は増し、教職員の大きな負担となり消毒作業に対する教育委員会の認識と、マンパワー確保の具体策について伺う。

**答弁** 教職員の負担を軽減するスクール・サポート・スタッフに関わる国の補助金の活用を図りながら、地域の方などの協力をいただき、学校の実情に応じた必要な人員を配置していきたいと考えている。

### 文化観光施策について

**質問** 今般の事態によって宿泊者数が激減し、今後も交流人口の大幅な増加を期待することは厳しく、戦略自体の見直しが必要となっている。今後どのように進めていこうと考えているのか伺う。

**答弁** 令和2年の宿泊者数は激減することが確実であり、感染症が観光のあり方や交流人口にどのような影響を及ぼすのか見極めつつ、新しい生活様式への対応の視点を盛り込むなど、関係団体や関係者の方々と意見交換も行いながら戦略の見直しを行っていく。

#### その他の質疑項目

- コロナ禍に対応した都市政策
  - 豪雨災害対策
  - 今後の環境行政
  - 総合計画における視点
  - ICTのさらなる利活用
  - ガス事業民営化等について など
- 多岐にわたり質疑を行いました。

皆様の声をお聞かせください。ご協力よろしくお願いいたします。

仙台市議会議員  
(宮城野区)

**赤間次彦**

<http://www.sendai-akama.jp>  
mail@sendai-akama.jp



【市議会会派自由民主党】

〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1

TEL/022-214-8716 FAX/022-711-5687

【自宅・事務所】〒983-0821

仙台市宮城野区岩切字今市東 18-1 TEL・FAX/022-255-0095

● 市政に対するご意見、地域のお困り事等がございましたら、お気軽にお寄せください ●